

斐伊川水系 流域治水プロジェクト (暫定版)



流域一体となって取り組む
斐伊川治水3点セットと
流域治水

River Basin Disaster Resilience
and Sustainability by All

農林水産省

気象庁

国土交通省



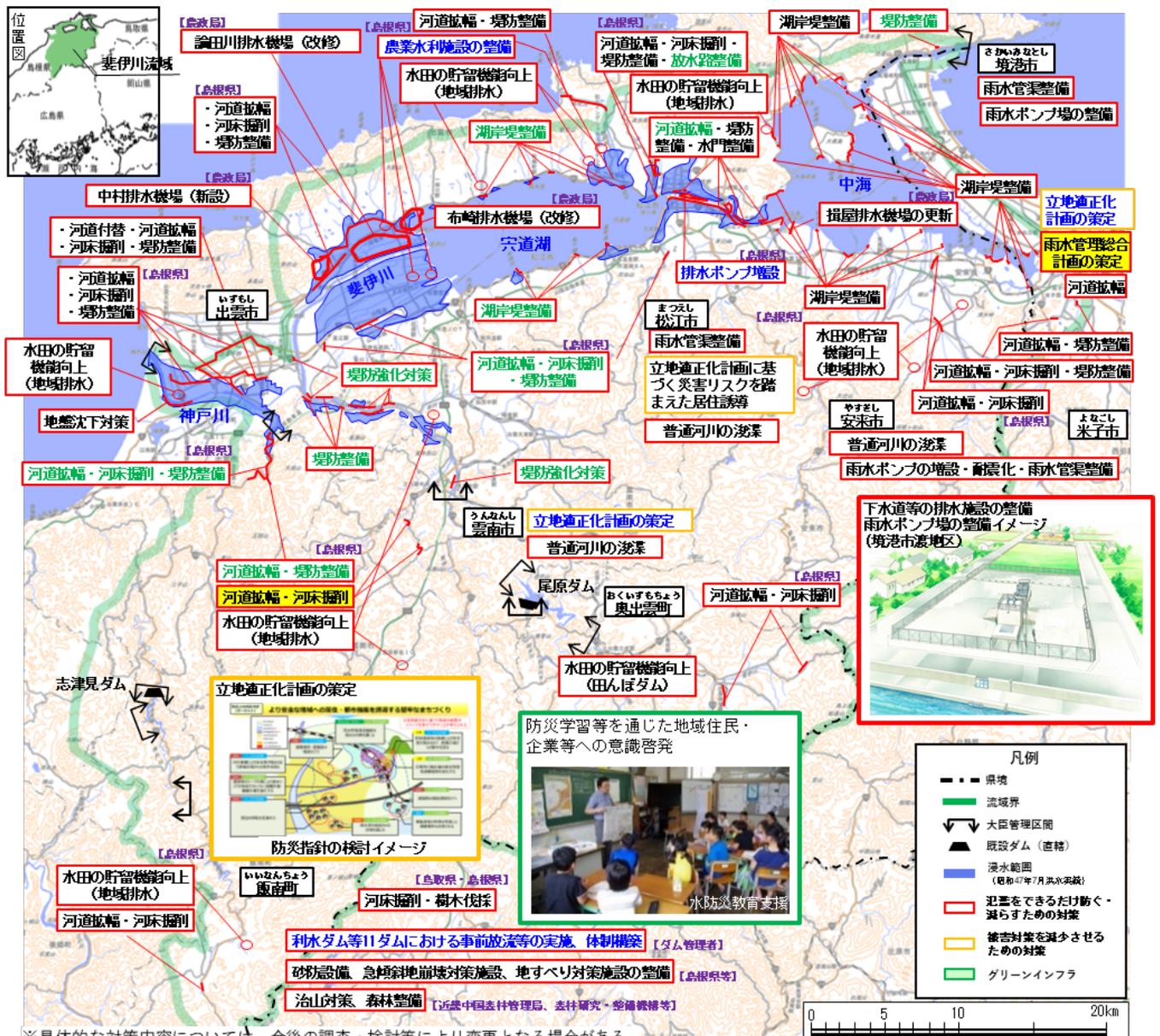
斐伊川水系流域治水プロジェクト

- 近年全国各地にて激甚化する水災害を踏まえ、斐伊川水系においても、流域全体であらゆる関係者が協働で事前防災対策を進める必要があります。
- 砂河川である斐伊川は、河口部等の下流域に土砂が堆積しており、典型的な天井川を形成していることから、一度氾濫が発生すると被害が甚大化するおそれがあります。また、中海と宍道湖を結ぶ大橋川は、断面が小さく水はげが悪いことに加え、周辺は低平地のため氾濫した場合、浸水被害が長時間継続するおそれがあるといった特徴があります。昭和47年7月洪水により、松江市街地が一週間にわたり浸水被害が発生したこと等を踏まえ、大橋川改修や内水対策などの事前防災対策を進めます。
- 以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大規模である昭和47年7月洪水と同規模の洪水に対して、家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図ります。併せて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制の構築や、円滑な避難行動に資する情報発信などの取組を通じて「逃げ遅れゼロ」を目指します。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

被害対象を減少させるための対策

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



凡例

- 県境
- 流域界
- 大府管理区間
- 既設ダム (直轄)
- 浸水範囲 (昭和47年7月洪水実績)
- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 被害対象を減少させるための対策
- グリーンインフラ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

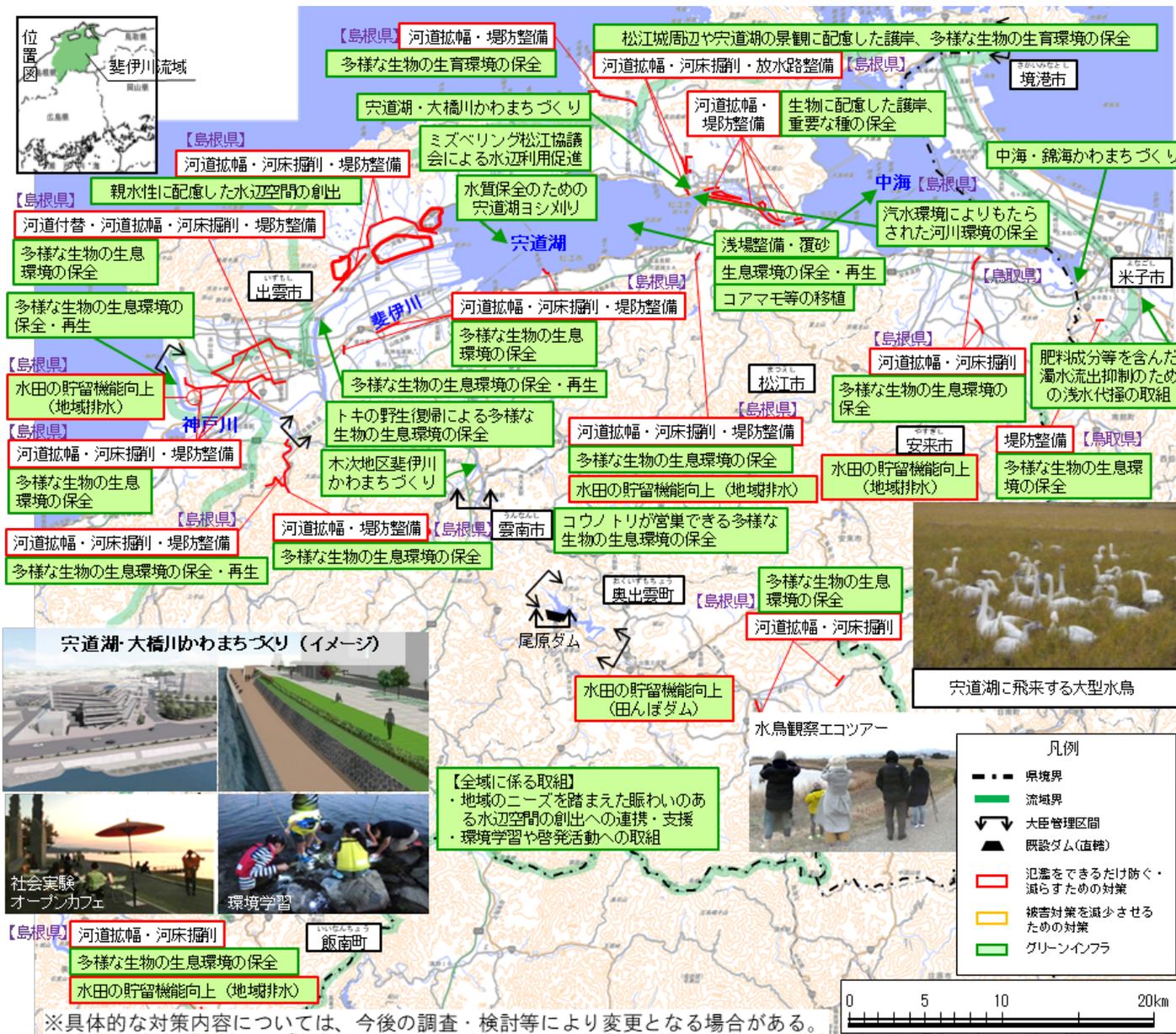
黄色セル：新規 青字：R4迄完成 黒字：実施中 緑字：R6以降

グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

国土形成計画(平成27年8月閣議決定)

斐伊川水系は、全国的にもまれな連結汽水湖である宍道湖及び中海はラムサール条約の登録湿地であり、西日本有数の水鳥の飛来地となっているほか、斐伊川本川及び神戸川にも豊かで多様な動植物が息つき良好な景観が形成されている等、次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在しています。

斐伊川水系においては、湖岸沿岸部における生物の生息・生育・繁殖環境の再生と自然浄化機能の回復を目的とした浅場整備、覆砂を、また大橋川改修事業に伴うコアマモ等の保全・再生を目的とした移植や環境に配慮した護岸の整備を行うなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

1) 洪水氾濫対策

① 大橋川改修

#1 大橋川改修

取組概要

- 大橋川沿川は堤防が未整備の区間があるとともに、上下流の2箇所に狭窄部を抱えるため、戦後最大の浸水被害が発生した昭和47年7月豪雨や平成18年7月豪雨により、松江市の中心市街地が浸水する等被害が発生した。このため、堤防整備、河道拡幅等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。

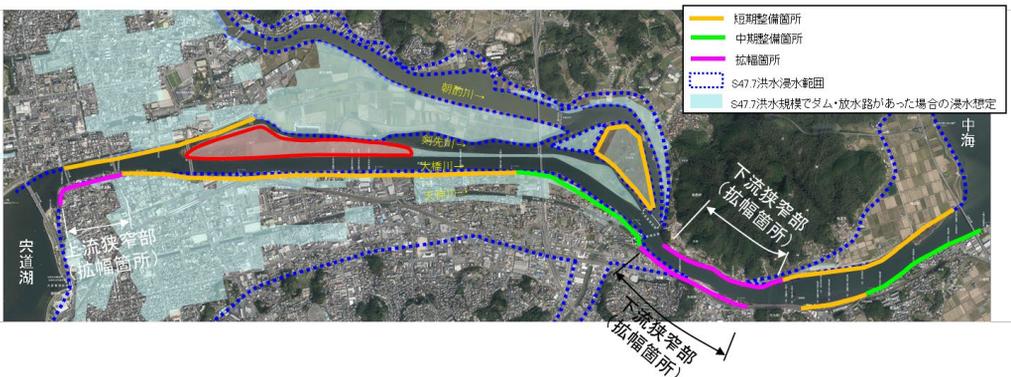
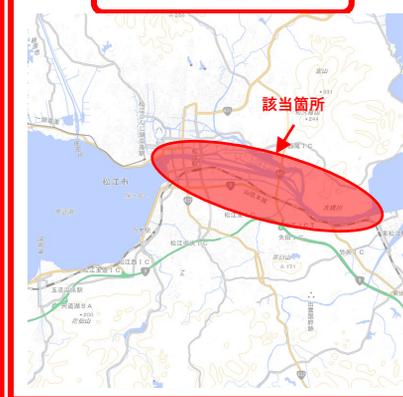


地盤改良工
(東本町地区)



地盤改良工、護岸工
(福富地区)

位置図



H18松江駅前
平成18年7月洪水
浸水状況

取組の実施状況・工夫点

- 大橋川改修において東本町地区で地盤改良などを行っている。

取組における効果

- 大橋川改修では、松江中心市街地の浸水被害を防止軽減する。

担当部署・連絡先

担当部署：出雲河川事務所 計画課
連絡先：0853-20-1762

○ 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

1) 洪水氾濫対策

— ② 中海・宍道湖湖岸堤整備

#2 中海湖岸堤整備

取組概要

・ 中海においては、高潮による浸水被害を防止軽減するために、湖岸堤の整備を実施している。

松江市(大海崎町)
(R5年1月)



境港市(西工業団地)
(R4年12月)



位置図



取組の実施状況・工夫点

・ 松江市の大海崎町、境港市の西工業団地で湖岸堤整備を行っている。

取組における効果

・ 中海では、高潮による浸水被害を防止軽減する。

担当部署・連絡先

担当部署 : 出雲河川事務所 工務課
連絡先 : 0853-20-1760

○ 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 ——— 2) 内水氾濫対策 ———

— ① 河道拡幅, 河床掘削, 堤防整備, 河道付替 (県管理河川)

#3 加茂川 (河道拡幅・河床掘削・築堤)

取組概要

- ・ 加茂川は、米子市街地を貫流し中海にそそぐ、河川延長約10kmの1級河川である。
- ・ 河道拡幅、河床掘削、築堤等により流下能力の向上を図る。

実施状況

写真①

過去の出水状況(H23.5)



【令和4年度実施内容】
河道拡幅 L = 340 m



R4.5月撮影

写真② 施工状況(R5.1)

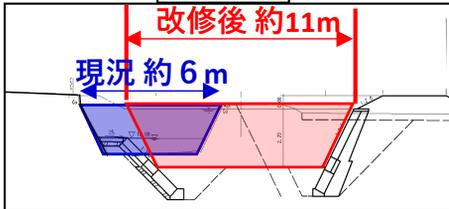


位置図



横断面図

横断面



取組の実施状況・工夫点

- ・ 【令和4年度実施内容】
河道拡幅 L=340m

取組における効果

- ・ 観測史上最大規模である昭和39年7月豪雨と同規模の洪水を安全に流下させる。

担当部署・連絡先

担当部署：鳥取県 県土整備部 河川課
連絡先：0857-26-7374

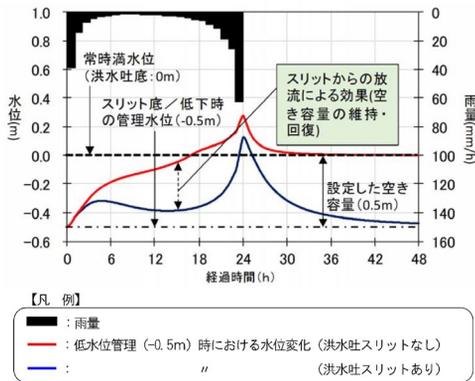
斐伊川水系流域治水プロジェクト（追加予定）

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 ——— 2) 内水氾濫対策 ———
 ——— ④ 農業水利施設の整備, 排水機場の更新・改修 ———

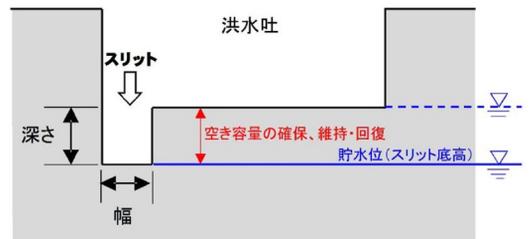
#4 ため池洪水吐へのスリット付与

取組概要

・ため池整備にあわせて洪水吐越流堰等にスリットを設けることで、スリット深さに対応した空き容量を確保し、手間をかけずに低水位を保つ。



位置図



取組の実施状況・工夫点

- ・【令和4年度実施内容】
ため池整備 2箇所

取組における効果

- ・豪雨による浸水被害の軽減を図る。

担当部署・連絡先

担当部署 : 鳥取県 農林水産部 農業振興監農地・水保全課
 連絡先 : 0857-26-7320

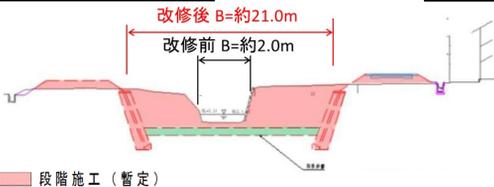
- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 2) 内水氾濫対策
- ① 河道拡幅, 河床掘削, 堤防整備, 河道付替 (県管理河川)

#5 中川 (河道拡幅・河床掘削)

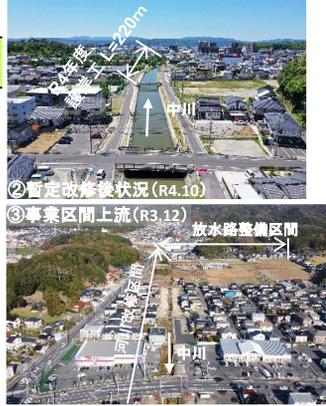
取組概要

- ・ 中川は松江城の北に位置し、南に流下しながら松江堀川に注ぐ河川延長1.8kmの一級河川である。沿川には家屋が連担しており、河道が狭小なため頻繁に浸水被害が発生している。
- ・ 河川の拡幅、河床の掘削、堤防の築造、橋梁等の改築により流下能力の向上を図る。

標準横断面図

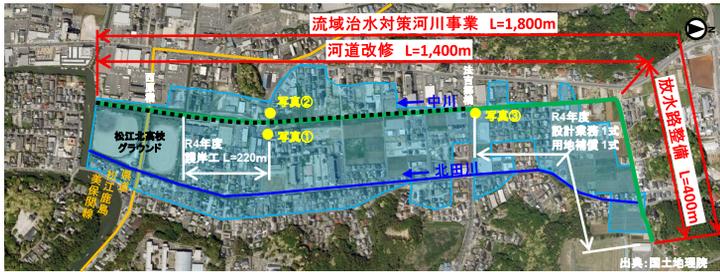


実施状況

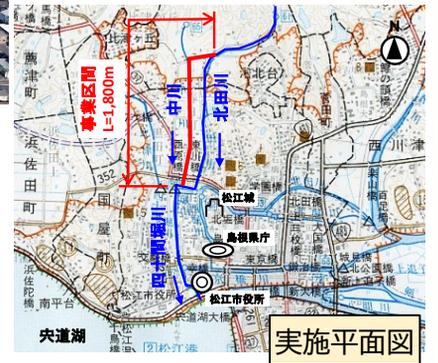


【令和4年度実施状況】

護岸工 220m、設計業務1式、用地補償1式



位置図



取組の実施状況・工夫点

- ・ 令和11年度の完成に向け、関係機関との調整を図りつつ事業を進捗させる

取組における効果

- ・ 昭和47年7月洪水と同規模の洪水に対して、沿川の浸水被害解消を図る。

担当部署・連絡先

担当部署 : 島根県 土木部 河川課
連絡先 : 0852-22-5196

○ 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 ——— 2) 内水氾濫対策 ——— ④ 農業水利施設の整備, 排水機場の更新・改修

#6 農業水利施設の整備

取組概要

- ・ 西潟ノ内地区は松江市で最大級の優良農地が広がっているが、排水先となる穴道湖との標高差がないことからポンプによる強制排水を行っている。
- ・ 老朽化した排水機場を改修し排水能力を強化することで、農地のみならず地区内にある「指定避難所」や「緊急輸送道路」など、豪雨による湛水被害の防止を図る。

実施状況

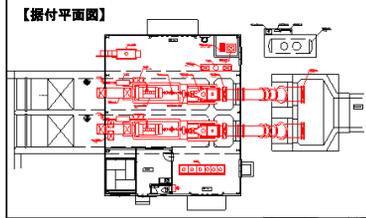
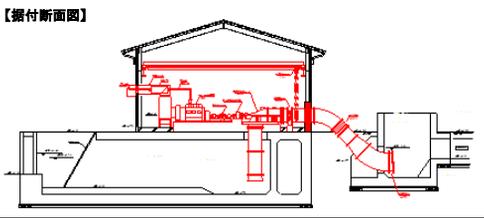
【排水ポンプ整備工事の状況】



位置図



実施平面図



取組の実施状況・工夫点

【主な整備内容】

- ・ 排水用ポンプφ1000mm 2基
- ・ 自家発電設備等 1式
- ・ 上屋整備 1式

【ICTの活用】

- ・ ICTによる水管理システムを導入し緊急時の迅速な対応や維持管理の負担軽減を実現

取組における効果

- ・ 豪雨による湛水被害の防止を図る。

担当部署・連絡先

担当部署：島根県 農林水産部 農地整備課
連絡先：0852-22-6780

○ 1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 ——— 3)流域の雨水貯留機能の向上

——— ②治山対策・森林整備

#7 治山対策・森林整備

取組概要

- ・山腹崩壊や溪岸侵食による土砂の流出抑制や流木の流出拡大防止のため、山腹工や治山ダム等工を設置。
- ・土砂の流出抑制や森林の浸透能の向上により流出量を減少させるため間伐等を実施。

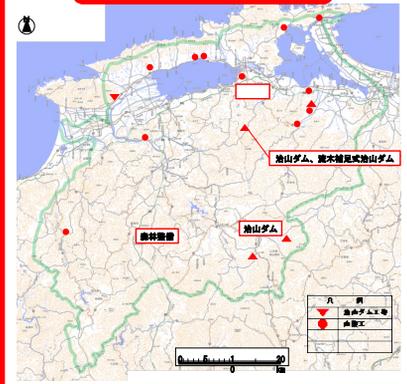
実施状況



○森林整備(間伐)の実施



位置図



取組の実施状況・工夫点

- 治山対策【県】
治山ダム等を森林の荒廃や保全対象の状況等、優先度の高い箇所から実施している。
 - ・治山ダム 6基
 - ・流木補足式治山ダム 1基
 - ・山腹工事 10箇所

- 森林整備【県、林業公社、市町、森林組合、林業事業体】
間伐等の森林整備を実施している。
 - ・森林整備 1,421ha
 - ・年度末までに事業完了予定。
 - ・令和5年度以降も両対策を実施する予定。

取組における効果

- ・土砂流出抑制効果の発揮。
- ・森林の浸透能の向上＝ピーク流出量の減少。

担当部署・連絡先

担当部署：島根県 農林水産部 森林整備課 森林基盤整備・防災対策室
連絡先：0852-22-5172

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 2) 内水氾濫対策
- ③ 普通河川の拡幅・浚渫等

#8 車尾地区浸水対策事業（鉄道南側川改良事業）

取組概要

・ 浸水地区の流域を調査し、流域を一部変更した。それに伴い、流末となる普通河川（鉄道南側川）の河川断面を拡幅し、浸水被害を防ぐ事業である。

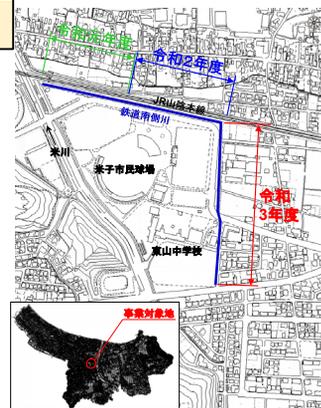
実施状況

改良前



改良後

実施平面図



位置図



取組の実施状況・工夫点

- ・ 実施状況
令和元年度から最下流の河川断面を拡幅し、順次上流側を施工し、令和4年6月に全区間900mの拡幅が完成した。
- ・ 令和4年6月に施工完了している。

取組における効果

- ・ 令和3年7月豪雨、令和4年の大雨において、浸水の被害は確認されなかった。

担当部署・連絡先

担当部署：米子市都市整備部 都市整備課
連絡先：0859-23-5282

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 2) 内水氾濫対策
- ③ 普通河川の拡幅・浚渫等

#9 観音寺地区浸水対策事業（蓮田川改良事業）

取組概要

- ・ 浸水地区の流域を調査し、普通河川（蓮田川）の河川断面を改良し、浸水被害を防ぐ事業である。

実施状況

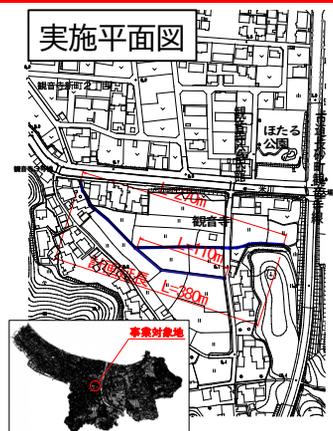


改良前

位置図



実施平面図



取組の実施状況・工夫点

- ・ 実施状況
令和4年度から測量設計に着手し、令和5年度に用地買収を予定している。令和6年度以降、下流側から改良工事を予定している。
- ・ 令和5年度に用地買収、令和6年度以降改良工事。

取組における効果

- ・ 流域の浸水被害解消。

担当部署・連絡先

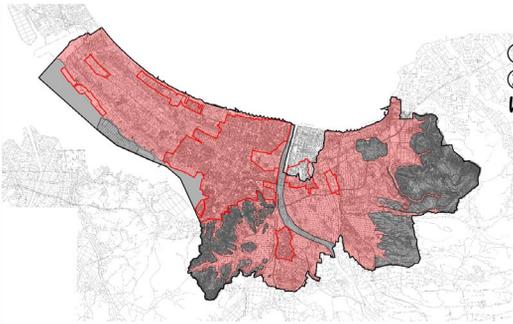
担当部署：米子市 都市整備部 都市整備課
 連絡先：0859-23-5282

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 2) 内水氾濫対策
- ⑤ 雨水管理総合計画の策定

#10 雨水管理総合計画の策定

取組概要

- ・ 浸水被害軽減を目的とする雨水対策を効率的に進めるための計画を策定する。
- ・ 計画期間、計画区域、計画降雨（整備目標）、段階的対策方針の策定など。



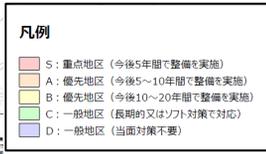
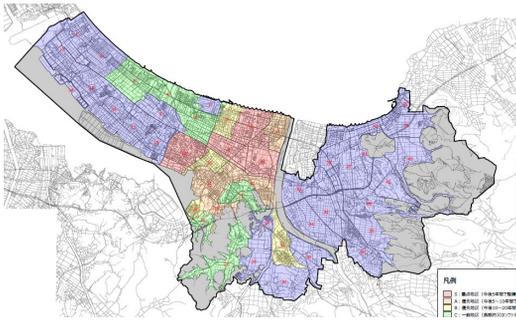
【検討対象区域の設定基準】
 ① 市街化区域は検討対象とする
 ② 市街化調整区域の山地、海等は検討対象区域から除外する



位置図



実施状況



取組の実施状況・工夫点

- ・ 雨水管理方針、整備水準（計画降雨）、重点地区、優先度の設定を行っている。
- ・ 令和5年度末完成予定。令和6年度運用を開始する。

取組における効果

- ・ 重点地区の段階的対策計画を定めることで、浸水対策を計画的、効率的に進めることができる。

担当部署・連絡先

担当部署：米子市 都市整備部 都市整備課
 連絡先：0859-23-5282

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 2) 内水氾濫対策
- ② 排水ポンプ・雨水ポンプの整備, 雨水函渠整備

#11 雨水ポンプ場整備(渡地区)

取組概要

- ・国土交通省が進める斐伊川水系の中海湖岸堤整備とあわせて、内水排除施設(雨水ポンプ場)や道路拡幅等の整備を行うことで、渡漁港周辺地区の安全・安心で快適な生活環境の実現を目指す。

実施状況



位置図



取組の実施状況・工夫点

- ・令和5年7月完成予定。

取組における効果

- ・渡漁港周辺地区の安全・安心で快適な生活環境の実現。

担当部署・連絡先

担当部署：境港市 建設部 管理課
 連絡先：0859-47-1061

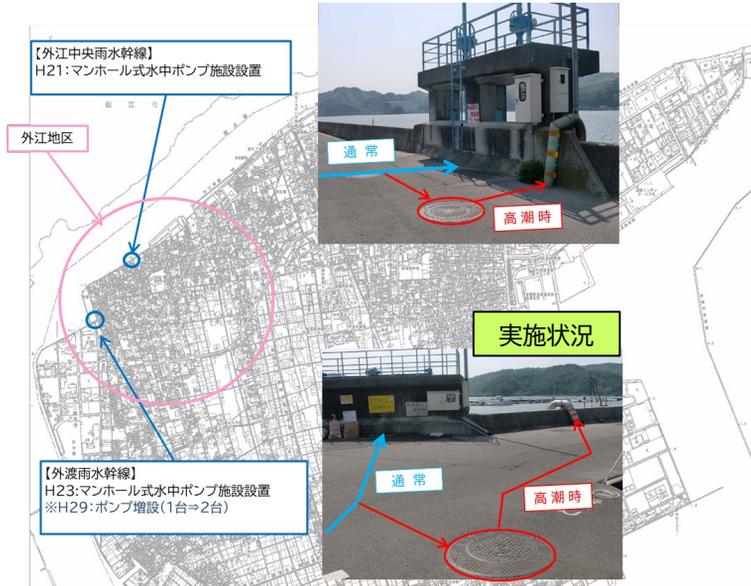
○ 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 ——— 2) 内水氾濫対策 ———

—— ② 排水ポンプ・雨水函渠の整備, 雨水ポンプ場の整備 ———

#12 外江地区内水対策事業

取組概要

- ・ 高潮時対策
固定式の内水排除ポンプ施設の整備
- ・ 雨水と高潮時対策
公共下水道事業にあわせ、高潮等の外水位上昇と計画降雨の内水に対応した、雨水ポンプ場等の整備を行っていく。



位置図



取組の実施状況・工夫点

- ・ 実施状況
- ・ 平成21年度：外江中央雨水幹線最下流部にMP施設設置
- ・ 平成23年度：外渡雨水幹線最下流部にMP施設設置
- ・ 平成29年度：外渡雨水幹線最下流部にMP施設増設
- ・ 令和 2年度：外江地区の公共下水道事業認可拡大「斐伊川水系流域治水プロジェクト」に位置付け。
- ・ 令和 4年度：矢尻川雨水幹線基本設計、矢尻川雨水幹線流出解析
- ・ 令和 5年度：外江中央雨水排水区流出解析

取組における効果

- ・ 外江地区の安全・安心で快適な生活環境の実現。

担当部署・連絡先

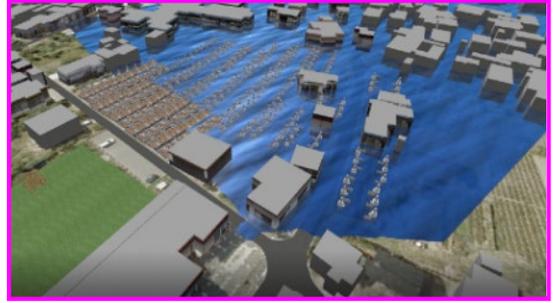
担当部署：境港市 建設部 下水道課
連絡先：0859-47-1117

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 2) 内水氾濫対策
- ⑤ 雨水管理総合計画の策定

#13 雨水管理総合計画の策定

取組概要

- ・ 浸水被害軽減を目的とする雨水対策を効率的に進めるための計画を策定する。
- ・ 計画期間、計画区域、計画降雨（整備目標）、段階的対策方針の策定など。



位置図



取組の実施状況・工夫点

- ・ 雨水管理方針、整備水準（計画降雨）、重点地区、優先度 の設定を行う。
- ・ 令和4年度：地形モデル（3D都市モデル(PLATEAU)）の構築
- ・ 令和5年度：浸水シミュレーションの実施
- ・ 令和6年度：雨水管理総合計画の雨水管理基本方針の策定
- ・ 令和7年度：雨水管理総合計画の段階的対策計画の策定

取組における効果

- ・ 雨水幹線や雨水ポンプ場等の整備目標や優先度を定め、順次整備を行う。

担当部署・連絡先

担当部署：境港市 建設部 下水道課
 連絡先：0859-47-1117

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 ——— 2) 内水氾濫対策 ———
- ② 排水ポンプ・雨水ポンプの整備, 雨水函渠整備 ———

#14 雨水管渠整備(松江地区・玉湯地区・宍道地区・東出雲地区)

取組概要

- ・各地区の浸水被害軽減のため、雨水管渠を整備する。

実施状況



位置図



実施平面図



取組の実施状況・工夫点

- ・松江地区の雨水管渠 (L=0.10km) を整備。
- ・浸水被害軽減のため、引き続き各地区の雨水管渠を整備する。

取組における効果

- ・各地区の浸水被害軽減。

担当部署・連絡先

担当部署：松江市 都市整備部 河川課
 連絡先：0852-55-5376

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 2) 内水氾濫対策
- ③ 普通河川の拡幅・浚渫等

#15 松江市緊急浚渫推進事業

(八東町 2 河川、美保関町 1 河川、上宇部尾町 1 河川、本庄町 1 河川)

取組概要

- ・ 河川氾濫などの浸水被害の防止等のため、現況河道内の土砂堆積や河道内樹木の状況を調査し、松江市緊急浚渫推進事業計画を策定、緊急的に実施する箇所を位置付け浚渫事業に取り組んでいる。

着手前



浚渫後



位置図



取組の実施状況・工夫点

- ・ 実施状況
令和 2 年度から新設された緊急浚渫事業債を活用し、R 2～R 6 の 5 力年計画で実施。令和 3 年の豪雨災害を受け R 4 から計画変更（増額）して実施している。

取組における効果

- ・ 河道内閉塞を改善したことで、度々溢水していた本川において、まとまった豪雨でも溢水することなくスムーズに流下するようになった。

担当部署・連絡先

担当部署：松江市 都市整備部 河川課
 連絡先：管理係 0852-55-5355

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 ——— 2) 内水氾濫対策 ———
 ——— ③ 普通河川の拡幅・浚渫等

#16 柳谷川改修事業

取組概要

- ・ 中海湖岸堤整備に合わせ、普通河川（柳谷川）の河川断面を改良し、浸水被害を防ぐ事業である。

実施状況



位置図



実施平面図



取組の実施状況・工夫点

- ・ 令和4年度から設計業務に着手し、令和7年度の完成に向け、湖岸堤整備の進捗に合わせ事業を実施する。
- ・ 緊急自然災害防止債を活用して実施している。

取組における効果

- ・ 流域の浸水被害解消。

担当部署・連絡先

担当部署：松江市 都市整備部 河川課
 連絡先：0852-55-5376

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 ——— 2) 内水氾濫対策 ———
 ——— ② 排水ポンプ・雨水ポンプの整備, 雨水函渠整備 ———

#17 下水道雨水排水整備事業 浦ヶ部排水区

取組概要

- ・ 地区周辺の浸水被害軽減及び区画整理事業による雨水流出量の増加に対応するため、雨水渠幹線の整備を行う。

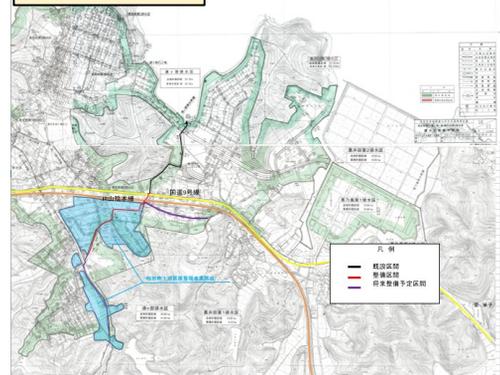
実施状況



位置図



実施平面図



取組の実施状況・工夫点

- ・ 雨水渠幹線L=312m整備完了、現在は既設下流部との取付部（国道9号線横断）を施工中。
- ・ 液状化判定がでたため地盤改良及びボックスの差口に耐震性ゴムリングを埋め込み変異追従性を有する継手構造（縦締無し）とし軟弱地盤でのレベル2の耐震対応能力を持たせた。

取組における効果

- ・ 当該地区における浸水被害の軽減。

担当部署・連絡先

担当部署：安来市 上下水道部 下水道課
 連絡先：0854-23-3370

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 ——— 2) 内水氾濫対策 ———
- ② 排水ポンプ・雨水ポンプの整備, 雨水函渠整備 ———

#18 東飯島地区内水対策事業

取組概要

- ・ 令和3年7月に発生した梅雨前線豪雨と高潮の同時発生により、東飯島地区においては家屋の床下浸水が発生した。
- ・ 排水ポンプにて強制的に内水を排水することにより、豪雨・高潮による浸水被害の防止を図る。

実施状況



位置図



実施平面図



取組の実施状況・工夫点

・ 実施状況

- 令和3年度 フラップゲート設置
- 令和4年度 フラップゲート設置、仮設ポンプ設置、調査設計
- 令和5年度 仮設ポンプ設置、用地補償、排水ポンプ整備工事

取組における効果

- ・ 豪雨・高潮による浸水被害の防止を図る。

担当部署・連絡先

担当部署 : 安来市 建設部 土木建設課
 連絡先 : 0854-23-3311

○ 1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 ——— 3)流域の雨水貯留機能の向上

—— ①水田の貯留機能の向上

#19 水田の貯留機能の向上

取組概要

- ・大雨洪水による被害リスクを水田活用（一時的に雨水貯留）して軽減する取組を実施。
- ・大区画ほ場整備事業により幹線排水路整備計画高と田面整備計画高を検討することで、「遊水地」整備の取組を支援。

実施状況

「遊水地」整備箇所と
幹線排水路の整備状況（前後）

整備前

整備中



位置図



実施平面図



取組の実施状況・工夫点

- ・今後も農地整備事業に併せ、「遊水地」を取り入れた整備をしていく予定。

取組における効果

- ・区内で単純に切盛りを行えば、現況堤防高より計画田面が高くなる。
- ・そこで、計画田面高を従来より下げることによって、計画高水位を超える出水の場合水田貯留が可能となる。

担当部署・連絡先

担当部署：島根県 農村整備課
安来市 農林水産部 農林整備課
連絡先：（島根県）0852-22-5144
（安来市）0854-23-3334

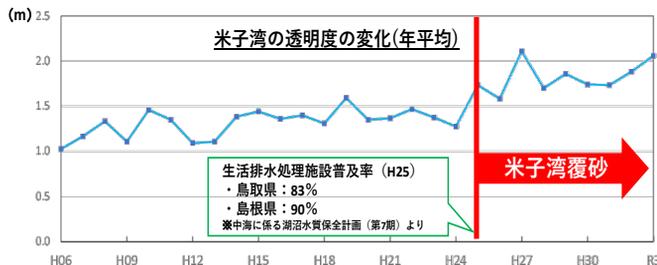
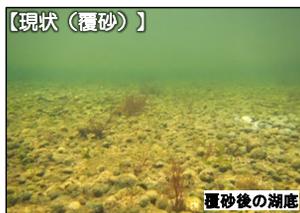
4.グリーンインフラの取組

①自然環境の保全・復元などの自然再生,健全な水循環系の回復

#1 浅場整備・覆砂

取組概要

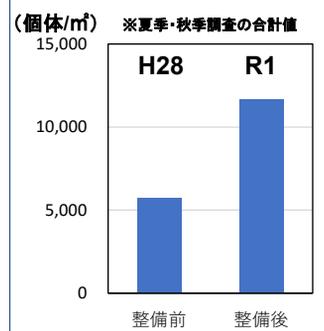
- ・沿岸域における自然の浄化機能を回復するために浅場整備を行う。
- ・湖底の汚濁底泥からの栄養塩溶出抑制や生物の生息環境を回復するために覆砂を行う。



位置図



宍道湖林地区の主要二枚貝
(ヤマトシジミ) の変化



取組の実施状況・工夫点

- ・整備箇所の物理環境や底質、生物の生息状況等のモニタリング調査結果等について、専門家からの意見や助言を踏まえて事業を実施している。

取組における効果

- ・宍道湖の林地区では、浅場整備により主要二枚貝が増加しており、自然浄化機能が向上している。
- ・中海の米子湾は、覆砂の実施により底質から栄養塩（窒素・りん）の溶出が抑制されるとともに、透明度も向上している。

担当部署・連絡先

担当部署：出雲河川事務所 流域治水課
 連絡先：0853-20-1761



River Basin Disaster Resilience and Sustainability by ALL

斐伊川流域治水協議会事務局

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 島根県出雲市塩冶有原町5-1

TEL : 0853-20-1850 (代表)